



令和2年度 公開授業研究会・関係者連絡協議会について

令和2年12月9日に開催した公開授業研究会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、急遽、校内研修会の形を取らせていただきました。参加を予定して下さっていた皆様、大変申し訳ありませんでした。

次年度は通常通り開催できることを願っております。その際は、ぜひ御参加ください。関係者連絡協議会に関しては、次年度も夏季公開研修会、公開授業研究会と同日開催できたらと考えております。

例年になく短い冬休みだった学校も多かったのではないかと思います。厳しい寒さの中で新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらの教育活動ではありますが、子供たちも保護者の方も先生方も、元気にこの冬を乗り切りたいと願っています。

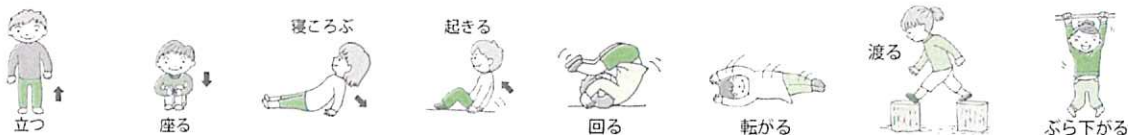
今号ではウイルスに負けない体づくりの一環として、幼少期に経験する基本的な動きにはどのようなものがあるかを紹介します。障害の有無や種類に関わらず、どの動きが得意か、苦手か等を知っておくと幼児児童生徒の実態把握や指導の手掛かりになるとと思います。いろいろな動きを組み合わせた活動が考えられるとよいですね。

<幼児期に経験する基本的な動きの例>

引用：幼児期運動指針ガイドブック 文部科学省

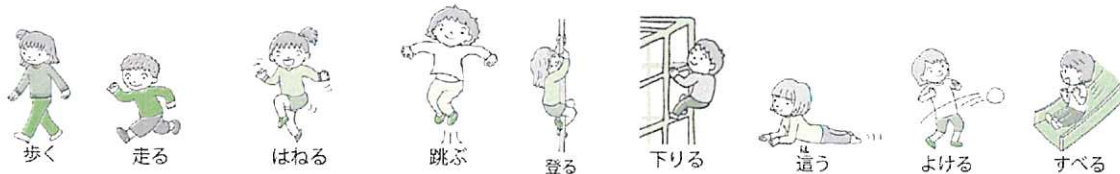
◎体のバランスをとる動き

立つ、座る、寝ころぶ、起きる、回る、転がる、渡る、ぶら下がる…



◎体を移動する動き

歩く、走る、はねる、跳ぶ、登る、下りる、這う、よける、すべる…



◎用具などを操作する動き

持つ、運ぶ、投げる、捕る、転がす、蹴る、積む、こぐ、掘る、押す、引く…



高等学校においては、平成30年度から、高等学校又は中等教育学校後期課程において、特別の教育課程を編成し、「通級による指導」を実施することが可能となりました。本校は、高等学校における「通級による指導」の指導担当をしています。そこで、高等学校における通級による指導について、一部紹介します。詳細は広島県教育委員会リーフレット「広島県立高等学校における『通級による指導』」を参照ください。

<高等学校における「通級による指導」>

Q 「通級による指導」とは？

A 指導の対象となる生徒が、大部分の授業を高等学校の通常の学級で受けながら、一部、障害に応じた特別の指導を、特別な場（通級指導教室）で受けるものです。

障害に応じた特別の指導は、授業時数として計上され単位認定されます。

Q 対象の障害種別は？

A 言語障害、自閉症、情緒障害、弱視、難聴、学習障害、注意欠陥多動性障害、肢体不自由、病弱及び身体虚弱です。（学校教育法施行規則第140条）

Q 指導内容は？

A 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するため、特別支援学校の自立活動に相当する内容を指導します。



今後の予定

内容	実施日
卒業証書授与式（高等部）	令和3年3月10日（水）
卒業証書授与式（小・中学部）	令和3年3月16日（火）
令和3年度高等部入学者選抜	一次募集 令和3年3月8日（月）・9日（火）
※詳しくは本校HPを御覧ください。	二次募集 令和3年3月23日（火）
令和3年度入学者等説明会	令和3年3月25日（木）



年度末が見通せる時期となってきました。3月末まで、幼・保・小・中・高等学校等の巡回相談等のセンター的機能を実施しています。

次年度に向けた年間指導計画や個別の指導計画、引き継ぎ資料等の作成、環境整備、教材教具、ケース会議・研修等の相談にも引き続き応じますので、ぜひ御活用ください。（公立学校については、巡回相談の派遣旅費は、本校が負担します。）

巡回相談や研修協力等の御相談は、お気軽に地域支援室までお電話等で御連絡ください。

広島県立広島特別支援学校 地域支援室

担当 専任教育相談主任 特別支援教育コーディネーター

大谷 祥子（肢体不自由部門） 寺田 浩樹（知的障害部門）



所在地 広島市安佐北区倉掛二丁目47-1

電話 082-843-1811 FAX 082-843-1813
Mail hirosima-sh@hirosima-c.ed.jp